

# 大学生アスリートのキャリア意識に関する研究 - アイスホッケー競技者を事例として -

A study on career mind of college athletes : A case study of ice hockey competitors

1K08B181-7 藤原 玄

指導教員 主査：作野 誠一 先生 副査：磯 繁雄 先生

## 【緒言】

スポーツの世界に年齢は関係なく、弱肉強食、つまり強い選手が生き残り、弱い選手は引退を余儀なくされる。TBS 系列の「バースデイ」で「プロ野球選手の戦力外通告」とタイトルづけされたテレビ番組を見た。200 勝投手、ホームラン王、エースとプロ野球きっての一流選手も新たな次代の変遷とともに引退を余儀なくされる。多くの選手たちは目の目を見ることなく戦力外通告される。競技生活からの引退後、路頭に迷わないために、プロになる以前の大学時代から将来に備え準備をするべきではないかと考える。本研究の目的は、大学生アスリートのキャリア形成に関する意識を調査し、大学時代に必要な施策を提言することである。

## 【方法】

早稲田大学アイスホッケー部に所属する男子大学生アスリートとクラブチームである西武プリンスラビッツに所属する女子大学生アスリートに直接面接を行った。調査は、事前に用意した競技引退後のキャリア意識に関する質問に一問一答をする形式で実施された。

## 【結果】

アイスホッケーを専門として競技に取り組んでいる大学生アスリートは大学 4 年間でアイスホッケーに捧げ、将来もアイスホッケーを継続的に続けることが出来るのであれば、とくに職種についてはこだわりをもたないことがわかった。また競技を一生懸命頑張る事は将来に繋がり、後悔しないためにも、アイスホッケーを思う存分プレーしたいという意思が伝わってきた。2014 年ソチオリンピックにぜひ出場したいという想いからプレーに集中する大学生アスリートもいた。ただ将来についての不安がないわけではなく、引退後に経済面や仕事などどのように生活していけばよいかという点に関して最も不安であるという回答が見受けられた。また大学からの就職活動に関する支援はほぼ皆無であるという意見もあった。そして面接を行った 3 人中 1 人は教職を履修していたが、練習との関係でとてもハードであると回答している。このことから大学生アスリートには、キャリア意識に関する授業や考える機会の提供が望ましい。

## 【考察】

2008 年リーマンショック以降日本企業もスポンサーからの撤退や規模縮小などを余儀なくされた。その影響は企業スポーツにも及び、西武プリンスラビッツは日本リーグに所属した男子アイスホッケーチームで 2009 年に親会社であるブ

リスホテルの業績不振のため廃部となった。元々競技人口の少ないマイナースポーツは一段と厳しい状況にある。大学生アスリートの選手としての雇用そして就職先の減少へとつながり、少ない椅子を奪い合う競争が激化することになるが、本研究で大学生アスリートが、大学 4 年間は競技に専念することが最も大切であり引退後の人生についてはそれほど深く考えていないという認識であることがわかった。そこで大学側が、入学させた大学生アスリートを部活動の指導者にすべて一任するのではなく、大学側からの施策によって大学生アスリートにおけるキャリア形成に一翼を担うべきであると考え。大学 4 年間で引退後の生活についてより深く考え対策を講じることは引退後の人生を豊かで実りの多いものにするとともに競技生活もより充実させることにもなるだろう。

## 【まとめと提案】

大学生アスリートのキャリア意識に関する研究を進めてきたが、面接調査の結果の通り、大学生アスリートは競技引退後の将来について不安を抱いてはいるが、何ら対策を講じていないということが判明した。日本企業が景気低迷のため、企業スポーツから撤退を余儀なくされている現状を考えると、今後も企業スポーツが大学生アスリートの就職先として拡大していくことはほとんど期待できない。そこで本研究では大学生アスリートが競技生活引退後も路頭に迷うことなくスムーズに社会生活に復帰できるようにするために、教職課程の履修を必修化することを提案する。その理由は、スポーツキャリア引退後はセカンドキャリアとして安定した職業に就くことが出来、競技の経験や知識も豊富であるため次世代の育成または青少年の育成にも適していること。また社会的な地位も得られるというメリットも獲得できること。教職課程を修了していれば、大学卒業後いつ教員になるかはアスリートの自由であるため、大学卒業後しっかりと競技に専念できるということなどが考えられる。以上のことから、大学生アスリートが教員免許を取得することがこれからのキャリアに役立つのではないかと考える。